

迎古夢旅 4603 : イベリア半島・湖面を走る鳥 P142



瞬き。いささか不鮮明で残念だが、私には、イベリア半島のいい思い出。
記録画像が残っただけでも有難い。昨今は、撮影道具も進歩し、撮影者がとっているのか、
カメラが撮っているのか、^{あと}後処理も可能。結果が良ければ正解との風潮もある。

それも写真の楽しみ方の一つ。

久楽流は、頑固な**こだわり**がある。北欧での一場面。

目は最高のレンズ。連写は、使用しない。



飛翔

<http://kuraku.jp>



地球のかおり

北欧のスカンディナヴィア半島を旅したとき、フィンランドの湖水で久々に生き物と遭遇した。大半はまだ凍っていて、眼前の一角だけ、氷が溶け始めていた。白鳥の夫婦は、気持ちよさげに泳いでいたが、突然、遠方から、仲間の鳥と思われる一鳴き。すると、雄の方だろうか、「ゲアツ、ゲアツ」と威嚇するように鳴き、飛び立った。相手はというと悠然として動かず。その対比が面白かった。
(夢絵作家 久楽^{くらく}迎古^{むかこ})

飛翔